



せんしょう苑
望洋荘 便り

第117号
平成25年
8月発行

線香花火を楽しむ

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 晃

七月、八月ともなると、子供たちの夏休みが始まる。海や川遊び、登山、キャンプと遊びには事欠かない。それにお盆も近づくと、迎え火や送り火と称して、松の木を燃やしその周りで花火遊びに興ずることが多いものです。

日本国内では年間におよそ八千五百回開催されている花火大会の中で、毎年十月初旬に茨城県土浦市で行われる土浦全国花火競技大会や、今年は異常気象で中止になったが七月下旬に東京都墨田区で行われる隅田川花火大会、八月下旬に秋田県大仙市で行われる大曲全国花火大会などが全国的に有名です。いわき市でも、恒例の小名浜花火大会があり多くの市民が楽しんでます。ほかにも市内各地で大小様々ですが地域の花火大会が開催されています。

特に、夏、人の集まるお盆の時期には家族揃って迎え火を囲みながら花火に興じますね。花火には、花火大会で見かける打ち上げ花火や仕掛け花火があり、玩具用花火が日常家庭やキャンプで使われるものです。その中で、一番ポピュラーなものは、何と言っても線香花火でしょう。日本の伝統的な花火の種類の一つでもあります。線香花火に火を点けると、先端に

火の玉ができます（牡丹）。その玉が激しく四方に火花を散らすようにして美しく見えます（松葉）。火花の勢いが弱くなります（柳）。そして火の玉が身を焦がすように揺れ動きながら落ちて行きます（散り菊）。線香花火の玉は、溶融した硫黄や各種不純物が表面張力で球状になったものであります。玉は落ちやすく、落ちてしまったら終わりなので、極力動かしてはなりません。純粹に火花を眺める楽しみ方（上記の牡丹・松葉・柳・散り菊）の他に、誰が一番長く消さずに保てるかを競ったり、消えるまで玉を落とさずにいられるか挑戦したりする遊び方もありましたね。恒例の「望洋荘花火祭り」を多くの皆さんが楽しみにしています。打ち上げ花火や、ナイアガラの滝の仕掛け花火も素敵ですね。でも、子供やお孫さんと夏のお盆の夕暮れに遊んだ線香花火には何かしみじみとした味わいがありましたね。

中村 汀女の句に

・留守の子の線香花火をともしらむ

また、作者は明らかではありませんが、線香花火のイメージを良く表現している句を幾つか紹介いたします。

- ・大花火より手花火のいのち切（せつ）
- ・額四つ 線香花火に 浮き出（い）でる
- ・玉育ち 盛（さか）りたそがれ 線香花火
- ・天逝（ようせい）と 線香花火 なぜか似る



家族交流会 四倉ユニット

八月二十五日(日)午後一時半より四倉ユニットにて、家族交流会を行いました。今回はスィカ割をしたり、お菓子やスィーツを召し上がりながらスライドショーを見て楽しみました。御家族様や職員にも一緒にスィカ割をして頂きましたが、命中率は入居者様の方が上回っておりました(笑)。割れたスィカは皆さん美味しく召し上がっておりました。つかの間の家族団欒に、入居者様も御家族様も心から楽しんでいただくことが出来ました。



カラオケ大会&八月誕生会

八月十一日(日)午後二時より塩屋岬ホールにて誕生会を行いました。カラオケ大会とコラボしての誕生会でしたので、歌詞が簡単に読めるよう、スクリーンプロジェクターを使用しました。皆さん、マイクの取り合いとまではいきませんでしたが、次から次へと、持ち歌が途切れなく続いて、大変盛り上がりしました。誕生者にプレゼントを贈り、とても和やかな誕生会となりました。



新人スタッフ紹介



庶務
木村 武志さん

8月21日より採用になりました望洋荘のガーデニングサポーターこと木村です。これから送迎等もお手伝いさせていただきますので宜しくお願いします。

お買物カゴ贈呈

八月二十九日(木)横浜市、高野山真言宗 港南大師、南光山 福聚院、住職 成田秀之様より、震災にあった福祉施設の復興支援を目的として、お買物カゴ五十個を寄贈頂きました。



防災訓練 豊間地区

八月三十一日(土)午前八時半より、いわき市津波避難訓練を実施致しました。大規模地震が発生し「大津波警報」が発表され、地区の高台などへの緊急避難を想定しての訓練となりました。

サイレント同時に近くの住民が望洋荘へ避難を開始しました。その後、点呼をして人員の確認を行いました。訓練とはいえ、皆さん真剣に訓練に取り組んでおられました。



花火大会

八月九日(金)、徐々に日中の蒸し暑さも和らいできた夕暮れ時に、正面玄関前にて「花火大会」を開催しました。みなさん初めは、吹き出し花火の大きな音にびっくりされていました。三メートル程にまで上がった花火はとも色彩やかで、その光景に見入っておられました。また色々な種類の手持ち花火には興味津々で「綺麗だね」「いいね」と笑顔でつぶやかれ、花火が終わってしまつと「もう終わっちゃった。次はなにかな？」とみなさん楽しんでいらつしやいました。厳しい暑さが続く中、夏の風物詩を堪能され、素敵な一夜となりました。



七夕見学

八月七日(木)いわき市平の七夕見学について来ました。朝から雨模様で中止しようか悩みましたが、じゃあ！いつ行くの？いまでしよう(笑)ということになり、午前と午後の二班に別れ決行することになりました。まずは雰囲気だけでも楽しんでいただくとうと「ワシントンホテル」一階のカフェを拠点に天候をみながら、雨が止んだら七夕を見学する予定でした。午前の班は雨に降られ、ガラス越しの見学となつてしまいましたが、そのかわりホテル内の「ふくふく」で美味しいランチを食べてきました。午後の班は少し雨脚も弱まり七夕見学をしながら出店にて焼きやかき氷を買って夏祭りを楽しまれました。



じゃんがら念仏踊り

八月十三日(火)午前十時より、昨年に引き続き「高久馬場青年会」さまのご厚意で「じゃんがら念仏踊り」をご披露いただきました。そのメンバーで職員の猪狩雅人さんより、コメントを頂きました。「昨年は私が「高久馬場青年会」の会長を務めていて、本番前のリハーサルを兼ねて、せんしょう苑の入居者様に見ていただきたいと思い来苑したのが始まりでした。そんな私のわがままに青年会のみんなが付き合ってくれたのですが、今年はみんなが、今年もせんしょう苑に行っても良いかなと言ってくれて来る事ができました。みんなには感謝しています。」

高久馬場青年会の皆様ありがとうございました。



「いわき踊り」に参加

昨年に続きまして、須田医院・せんしゅう苑・望洋荘の職員有志により結成されたチーム「SSB」として、平七夕祭り最終日となる八月八日の夜、いわき踊りに参加させていただきました。今年はアクセント的な演出として、頭頂部にリボンをかたどったヘアバンドを付けて踊りに臨みました。このヘアバンドはスイッチを入れるとリボンの部分が光る仕組みになっており、踊りに合わせて夜道に光が映える良い演出となったのではないかと思います。いわき踊りは平七夕祭りにおいて最も活気に包まれるイベントであります。参加団体は日ごろの練習の成果を見せるべく踊りに精を出し、祭りを訪れた一般客の皆様はそれぞれに個性的な踊りを、屋台で購入された食べ物などを片手に見守っておられました。

平七夕祭りを締めくくる最後の大きなイベントであるいわき踊りに、今年もまた参加できましたことを、大変嬉しく思います。



【九月の行事予定】

望洋荘

九月一日(日) 午後二時より
「家族交流会」 勿来ユニット
九月十五日(日) 午後一時三十分より
「望洋荘祭り」

『体験学習』

九月十七日(火)
藤間 中学校 一年生 四名
九月十八日(水)
小名浜第二中学校 二年生 八名
豊間 中学校 二年生 六名
九月二十五日(水)～二十六日(木)
江名 中学校 二年生 五名

【九月のお誕生会予定】

望洋荘

九月一日(日) 勿来ユニット
大谷 サタ子 様 (九七歳) 誕生会
九月二日(月) 四倉ユニット
池田 洋子 様 (八一歳) 誕生会
九月三日(火) 勿来ユニット
鈴木 美知規 様 (六四歳) 誕生会
九月二四日(火) 永崎ユニット
猪狩 カツ 様 (九〇歳) 誕生会
九月三〇日(月) 勿来ユニット
坂本 キヨ 様 (九六歳) 誕生会

【九月の行事予定】

せんしゅう苑

九月三日(火)～四日(水)
午前九時より午後三時まで
「体験学習」 好間中学校 三年生 九名
九月十六日(月) 午後一時より
「敬老会」 さつま芋の会福島県支部 様

【九月のお誕生会予定】

せんしゅう苑

九月三〇日(月) みまや 南ユニット
遠藤 武雄 様 (八五歳) 誕生会



編集後記

『せんしゅう苑・望洋荘』便り
平成二十五年八月三十一日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
地域密着型介護老人福祉施設 せんしゅう苑
介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246)38-6331
電話 (0246)55-7373